



ホームカミングデー2014

日時 2014年10月25日【土】開催 **会場** 四国学院大学キャンパス内

ホームカミングデーは、同窓生の皆様に、再び大学に足を運んでいただき、大学の近況に触れ、同窓生・学生・教職員と交流を深めていただくことを目的としたものです。

ホームカミングデーの催し案内

卒業式写真展示

日時 10月25日(土) 11:00~17:00
26日(日) 10:30~16:00

会場 ロゴス館

四国基督教学園時代からの卒業写真を展示しています。ご希望の方は、ご自身が卒業された写真の焼増しをお受けいたします。(※実費負担 無い年代もごぞいます)

四国学院同窓会総会開催

日時 10月25日(土) 13:00~13:30

会場 第一共生館2階(多目的ホール)

大学の近況・同窓会活動の報告をさせていただきます。
引き続き根本博愛教授の講演会、懇親会にもご参加ください。(詳しくは3P)

「2013年度卒業生新会員」「卒業5周年目」「卒業10周年目」の集い

今回は、2003年度(2004年3月)・2008年度(2009年3月)・
2013年度(2014年3月)卒業生の皆さんです。

日時 10月25日(土) 12:00~15:00

会場 第一共生館2階(喫茶室)

フリードリンク

「同窓会があればいいのに…誰か幹事して!」となると、なかなか実現に至りません。そこで、最も賑わっている大学祭期間に、ご友人との再会を応援します。オープンスペースでご自由にご歓談できます。個々の参加大歓迎。学科・ゼミ単位で正式に同窓会としたい場合は、本部同窓会までご連絡ください。名簿と住所ラベルをご用意できます。

部活・サークルOB会等を応援

メンバーを集めて、大学祭期間中、同窓会を希望される団体はご相談ください。学内で場所を検討させていただきます。現活動中の学生との交流を希望される団体は、事前にご一報ください。

CONTENTS

- ホームカミングデー2014 ..p1
- 同窓会事務局より ..p2
- 支部總會のご案内 ..p3
- 同窓生からのお便り ..p5
- 同窓生支援制度についてのご案内 p7
- 大学からのお知らせ ..p8

発行日/2014年6月 発行者/四国学院同窓会

〒765-0013 香川県善通寺市文京町3丁目2番23号 e-mail rogosu@sg-u.ac.jp



0120-459500

TEL 0877-62-5500(直通) 平日8:30~17:00 FAX 0877-63-4599

ホームカミングデーの催し案内

ミニ講演会@19メジャー+1マイナー

日時 10月25日(土)(前半)10:00~11:00 (後半)11:10~12:10 **会場** 各教室

学祭期間中、1年生向けメジャー科目の1部を一般公開しております。学生と一緒に受講しませんか？
受験をお考えのお子様との受講も大歓迎。普段の講義をご体感いただけます。

[文 学 部] ●文学 ●哲学 ●歴史学・地理学 ●英語 ●平和学 ●学校教育

[社会福祉学部] ●社会福祉学 ●心理学・カウンセリング ●地域社会と福祉実践 ●こころとからだの福祉
●子ども福祉 ●スクールソーシャルワーク(※マイナー)

[社 会 学 部] ●社会学 ●メディア&サブカルチャー研究 ●観光学 ●身体表現と舞台芸術マネジメント(演劇コース)
●国際文化マネジメント ●情報加工学 ●ベースボール科学 ●健康・スポーツ科学

※開始・終了時間は、多少変更になる場合があります。

※各ミニ講演会は、前半と後半で同一内容のものを2度実施している場合もあります。

※各ミニ講演会は、開始から10分を経過した後の入室はできませんので注意してください。

ロゴス館を無料開放

使用料無料日 10月25日(土)

同窓生のホームカミングを歓迎します。

受入には限りがありますので、お早めにご予約ください。

ロゴス館(同窓会館) 館内のご案内

同窓会の会場やご家族、ご友人との旅行の宿としてもご利用いただけます。



全景



ホール(約40席)



2階 洋室
(6人,10人用各1室)
1人1,200円/1泊
シャワー共用



2階 和室
(8人程度用2室)
1人1,200円/1泊
シャワー共用



3階 個室(4室)
1室3,000円/1泊
お風呂・トイレ付
(タオル・浴衣有)



3階 和室(4人用2室)
1室7,500円/1泊
お風呂・トイレ付
(タオル・浴衣有)

[お問い合わせ・申込先] 四国学院同窓会 ※ホームページからお申込みができます。

大学祭 情報

第53回四国学院大学祭は

10月25日(土)・26日(日)に開催します。

25日はフジロック・フェスティバル等の、大型フェスで
高い評価を得ている「渋さ知らズオーケストラ」が
出演決定!! 入場無料投げ銭ライブです。

お問い合わせ 四国学院大学祭実行委員会
4gaku.fes@gmail.com



※大学祭・ホームカミングデーの内容につきましては、大学および同窓会のホームページでお知らせします。
ご家族様もご一緒にお越しください。

2014年度同窓会の主な活動

- ① 同窓生支援制度の実施
 - 「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度」
 - 「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」
- ② ホームカミングの支援
- ③ 課外活動団体(個人)への支援
- ④ 大学の企画・プロジェクトへの協力・提携
- ⑤ 就職支援
- ⑥ 同窓会会報「ロゴスだより」の発刊
- ⑦ ロゴス館(同窓会館)の運営

住所変更届

四国学院大学の催し、各種同窓会等の案内をいたします。“転居先不明”で本会に郵便物が返送されてくる
悲しいことになりませんように、ご自身で変更届をしてください。

情報発信

同窓会・大学関連の催しをタイムリーに情報発信いたしますので同封のハガキにてお知らせください。
できましたらPDF形式で送付が可能なアドレスが望ましいです。

2014年度支部総会のご案内

近隣県にお住まいの方、勤務地やたまたま開催日にお近くにいらっしゃる等、どの支部でも参加はご自由です。本会報以降の支部総会再案内をする場合は、各支部に居住する方のみに行いますので、同窓会ホームページで確認してください。変更または詳細追加がある場合もございますので確認してください。

香川県支部総会

- 開催日時 2014年10月25日(土)
受 付 12:30
全 体 総 会 13:00～13:30(大学の近況・同窓会活動報告)
根本先生講演会 13:30～14:20
支部総会・懇親会 14:30～16:30
- 会 場 第一共生館2階(多目的ホール)
- 返信締切 10月15日(水) ●懇親会会費 3,000円

『四国学院を語る』 根本博愛 四国学院大学名誉教授

私は1972年4月、四国学院大学に専任講師として赴任以来、2012年3月に退職するまでの40年間、恵まれた環境の下で勤務させて頂きました。その間、大学内外の<ひとびと>と<出来事>との出会いを通して大きく成長させて頂いたことを痛感しております。今回、四国学院の同窓会においてお話しする場を与えられ、心より感謝しております。40年をふりかえりながら、四国学院に育てて頂いた思い出の<ひとびと>や<出来事>の一端を、四国学院の確かな歩みの方向性を見定めながら、許された時間の範囲で、静かに語ってみたいと思います。

愛媛県支部総会

- 開催日時 2014年11月15日(土)
受 付 15:30
演 奏 会 16:00～16:40
支部総会 16:50～17:20
懇 親 会 17:30～20:30
- 会 場 「国際ホテル松山」
松山市一番町1-13 TEL.0120-32-0001
- 返信締切 11月5日(水) ●懇親会会費 4,000円



得永幸子&新宮久子 演奏会

ソプラノ独唱 得永幸子
伴 奏 新宮久子

曲目 『この道』『翼』『小さな空』他

※今回、得永幸子四国学院大学教授・新宮久子四国学院大学非常勤講師の先生方に演奏会をお願いいたしました。お二方とも四国学院大学大学院社会福祉学専攻を修了されております。国内外において演奏活動を行い活躍されておられます。ご家族様と一緒にどうぞお越しください。演奏会についての詳細は、同窓会ホームページにてご確認いただけます。

関東支部総会

- 開催日時 2014年11月15日(土)
受付12:00 支部総会・懇親会12:30～16:00
- 会場 「アルカディア市ヶ谷(私学会館)」
千代田区九段北4-2-25 TEL.03-3261-9921
- 懇親会会費 7,000円 ●返信締切 11月1日(土)
- 申込、問合せ ①関東支部長山田昭和
TEL.0463-21-9120//090-8442-6359
Email hharbor@d5.dion.ne.jp
②同窓会事務局

広島県支部総会



●開催日 2014年11月29日(土)

広島県支部の皆様へ

ご無沙汰しております。今年、広島県支部の集まりを久しぶりに開催いたします。当地、広島にありましては、今年は広島東洋カーブが優勝するのでは、というくらいのペナントレースを戦っています。皆様、覚えておられる方もいらっしゃると思いますが、わが四国学院にもカーブのOBがいます。背番号48番、ピッチャー天野浩一氏(2001年度人文学科卒業)四国大学リーグ出身の初のプロ野球選手として活躍しました。今回、広島県支部総会に天野君をお呼びすることになりました。広島カーブでの経験や、四国独立リーグのこと、現在、少年野球の指導者として活躍されているなかから、貴重な経験談をお聞きすることができると思います。ぜひ、この機会に広島の四国学院同窓として旧知を温めようではありませんか。詳しくは、開催日が近くなりましたら、改めましてご案内をお送りいたしますので、お誘い合わせの上ぜひご参加ください。11月終わり頃は……もしかすると、カーブが日本一に……かも?よろしく願いいたします。

広島県支部事務局 木下誠也(1982年度社会福祉学科卒業)

四国学院同窓会九州支部発足を目指して 加嶋靖彦さん(1981年度社会福祉学科卒業)

この度、四国学院同窓会九州支部発足を縁があり、お手伝いさせていただく事となりました。在学時代は、今のようにパソコンやスマホなどが無く、ましてや学生の為、固定電話を持つ人も殆どなく、連絡手段は本人に会う、そんな時代でした。逆にそれが、大学を卒業して30数年経っても、今だに当時の友人の数人とは、連絡を取り合っている楽しい時代を過ごさせていただきました。

大学卒業後は、地元の金融機関に24年間勤務しておりましたが、学生時代に学んだ福祉で、いつかは仕事をしたいと思い、48歳の時に金融機関を退職して、現在は、大分県杵築市と日出町に特別養護老人ホームと知的障害者を主体とした社会福祉法人に勤務しております。学生時代に学んだ福祉と今の福祉の取り巻く環境は大きく変化しており、戸惑う事も多い毎日ではありますが、何とか毎日を過ごしています。

卒業後にいつも思っていた事は、地元で四国学院の同窓会が無い事でした。ホームページを見ますと、他の地域では同窓会支部が設立され、総会が開かれている事を知り、残念な気持ちでした。そう思っていた矢先に、偶然にも九州支部設立のお話を受け、今回、設立のお手伝いをさせていただくようになりました。来年を目途に同窓会本部と連携を取りながら微力ではありますが、設立に努めたいと思います。

以下のとおり、設立に向けて、準備委員会を開く予定でありますので、この会報をご覧になった方で、九州在住の方がいらっしゃいましたら、是非、ご協力をお願い致します。事前にご連絡していただければ幸いです。

青春を満喫した大学時代の思い出を来年は皆さんと一緒に語り合しましょう。

九州支部
設立準備委員会

開催日 2014年8月23日(土)
会場 大分県内

※ご協力いただけます方は、同窓会事務局までご連絡ください。ご支援をお待ちしております。

1.申込方法 ①同封のハガキにて返信
②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp
ハガキと同様、必要項目を入れて送信ください。
受信後、受信確認の返信をします。連絡がない時は、お手数ですが、TELでご一報ください。

2.お問い合わせ「四国学院同窓会事務局」
①0120-459-500(平日8:30～17:00)
②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp

同窓生からのお便り

「恩師を追悼する同窓会」を催す

「恩師を追悼する同窓会」実行委員会

川崎 俊和さん（1970年度社会福祉学科卒業）

2012年夏の頃、秋山智久先生から電話を頂きました。「40数年前あの青春時代を謳歌し、学んだ四国学院大学時代は本当に楽しかった。教鞭を取った私たちも大変楽しく教えさせていただいた。あのような楽しい時代はあの時代しかなかった。しかし、ふと振り返ってみるとあの時代の先生方は最早私しか残っていないんだよ」そのような内容でありました。そのお話を聞いたとき私の脳裏にはあの勝手気ままに学び、過ごさせていただいた40数年前の思いが一気に蘇ってきました。私たちは団塊の世代であり、40数年間脇目も振らず夢中で働いてきた者として、学生時代を振り返る機会が少なかったことが無性に寂しく感じられました。想いを同じくする仲間たちに連絡をとりました。返事は想像通りで、「是非共恩師を偲ぶ会を・・・」で一致しました。しかし仲間たちの組織を持たない私たちにとっては夢のような話です。幸いにも同窓会事務局が好意を示してくださいましたし、大学にわれらの仲間、村田哲康教授が在籍されており、キーマンとなってくださることになりました。お世話いただく方々で何度となく打ち合わせを行いました。そして私たちでできることを、次のように確認していきました。

呼びかける方々は、1968年から10年間の社会福祉学科の卒業生。偲ぶ恩師は故岡田藤太郎先生、故西脇勉先生、故中園康夫先生、故吉田卓司先生、故久保弘章先生、故寺本喜一先生、故村山幸輝先生とさせていただきます。母校を会場としてお借りするので、偲ぶ記念会は礼拝堂でキリスト教礼拝で行う。各学年に代表者を置き、その方を中心に情報の提供を行う。等々が決められていきました。



秋山智久教授



結果として、2013年9月28日(日)に110人を超える卒業生が集合し「恩師を追悼する同窓会」は決行されたのです。世話人を仰せつかった私たちにとっては夢を見ているような出来事でありました。お世話くださった「世話人」の皆様本当にご苦労様でした。

四国学院大学チャペル清泉礼拝堂で日本基督改革派善通寺教会の加藤親平牧師に聖書のメッセージを頂き、あの若かり頃接したキリスト教を思い返しました。四国学院大学教授の村田哲康先生は、私たち卒業後の四国学院の変遷を興味深く話してくださいました。思い出を語り、最後のトリは、現東京福祉大学教授の秋山智久先生の特別講演です。久しぶりに熱のこもった「福祉哲学」を聞くことができ、感激でした。

その後場所を善通寺グランドホテルに会場を移し、懇親会の時を持つことができました。お集まりいただいた皆さんの、あのはちきれんばかりの笑顔を見たとき、集まってよかったという実感を感じたのは私だけではなかったでしょう。特筆すべきは、呼びかけたのは10年間とお断りしましたが、参加者の中に四国学院創世記の大先輩佐々木信也氏、山中倫雄氏、三浦博氏が含まれています。この方々は、「私たちが居ないと同窓会にならないだろう」と番外で喜んで参加くださった方々です。子供のように無邪気に喜んだ再会であり、「ただ秋の夜の夢のごとし」でありました。

120年の歴史を未来につないで 「子どもたちの輝く未来を支える役割を担って」

観音寺市立観音寺幼稚園 園長補佐

瀬戸 尚子さん(旧姓香川) (1984年度教育学科卒業)

平成26年3月、観音寺市内の観音寺幼稚園・高室幼稚園・常磐幼稚園の3園が統合となり、新しく4月に開園する運びとなりました。平成25年度は平常の行事とともに、閉園行事・引越し作業等も重なり、大変忙しい日々となりました。閉園されるにあたって、閉園行事を進めていくうちに、観音寺幼稚園は明治25年に開園され、香川県下で一番歴史の古い幼稚園だったということがわかりました。大きな研究会等を数多く引き受け、幼児教育の最先端を担っていたようです。これまで積み上げられてきた先輩方の偉大な功績と尽力の大きさに感謝するとともに気の引き締まる思いを痛感しました。

そして、平成26年4月に開園された新しい観音寺幼稚園は、木の香りがする木目調の保育室・広い園庭と大きな砂場が特徴の幼稚園です。今現在そこで3・4・5歳児10クラス、計225名の子どもたちが共に生活しています。

新しい幼稚園のスタートを切るために、全職員で行事のシミュレーション・念入りな打ち合わせを繰り返し、日々の保育に力を注いできました。一人一人の子どもたちと毎日真剣に向き合い、大声で笑い

合ったり時には涙を流しながら叱ったりしながら成長をともに感じられるよう力の限り頑張っています。目の前にいる子どもたちにとって今必要なことは何なのか?経験させるべきことは?など、全職員で反省と実践を積み重ねているところです。

さて話は変わりますが、私たち1984年度卒業の教育学部は、卒業以来30年ぶりに同窓会を開催しました。深井克彦教授を中心に2年前より準備を進め、全国各地で活躍している同窓生が琴平に集結しました。昔は携帯電話もなくのどかな時代で、自由奔放だった大学時代の話があちこちで大盛り上がりでした。あつという間に30年前にタイムスリップ!時間を忘れて語り明かしましたね。

みなさんの学年も是非同窓会を開催してみてもはどうでしょうか!全国で活躍する仲間と出会えますよ。

それでは、最後になりますが、四国学院大学同窓生皆様の活躍を心より願っております。またお会いできる日を楽しみにしています。



モデル幼稚園と呼ばれていた明治時代からの観音寺幼稚園の正門付近



月1回の誕生会の様子 H25



平成26年開園された新しい観音寺幼稚園木目調の保育室

「～上海から～」

横井 亜伊子さん (2008年度応用社会学科卒業)

現在私は、上海の高校で、中国語を第一言語とする学生に日本語を教えています。日本語を教えるだけでなく、昨年はクラス担任も担当し、進路指導、生徒指導など、毎日忙しいながらも充実した毎日を送っております。

今、なぜ中国に?とお思いの方も多いと思います。現在日中関係は冷え切っており、大気汚染、食品安全、領土問題など日本では日々報道されており、帰国する度に、気が滅入りそうになります。確かに来た当初の生活は、大変でした。日本がどれほどインフラの整い、安全な国なのだろう…と思ったことでしょうか。安月給で、シャワーが出なかったり、電気が止まったりする家に住んでいたこともありました。盗難に遭ったことも一度や二度ではありません。以前旅行で訪れた中国は英語の通じる便利なところでした。しかし、いざ生活し始めると言葉や文化を理解していないと社会に溶け込めず、孤立し、孤独だと感じました。それでも日本人の集まる場所へ行って日本人と群れて生活することだけは嫌だったので「何があっても帰らない。」と腹をくくって様々な困難に立ち向かってきました。

このような生活を支えてくれたのは、中国の人々でした。まず一番お世話になったのは、四国学院大学で出会った陳女士さんです。当時彼女は香川で働いており、距離はあったものの、上海の生活のいろはを教えてくれたり、愚痴を聞いてくれたり、彼女が帰国してきた際、家に招待してもらったりと、彼女や彼女の家族には随分お世話になりました。そして学生と一緒に働いているスタッフたちには、日本のメディアには取り上げられない良き中国の姿がありました。ケンカしても、明日には許している(忘れてる?)懐の大きさ。水くさいのが大嫌いで一度親しくなると、どこまでもお世話をしてくれる温かさ。韓国留学中にも感じた【温かくどこか懐かしい気持ちになれるような人との近さ】がここ上海にもあり、幾度となく救われてきました。「嫌なところはあけど中国が好き。」と胸を張って言えるのは、このような中国の人々のお蔭であることは間違いありません。

そもそも私が、日本語教師を目指し始めたのは、留学中のことでした。ただ漠然と社会に貢献できる仕事に就きたい、これからも海外で生活したいと思っていた矢先に会った仕事でした。日本が好きなのでもなく、国語が不得意で興味もなかった私がこのような仕事に就くとは想像したことはありませんでした。しかし、私が教えた言葉で友情や愛情を育んでいくなんで、どんなに素晴らしいだろうと思うようになり、卒業後養成講座に通い、資格を取得しました。本当にしたいことに出会うタイミングは人それぞれです。もちろん在学中に日本語教師の資格や教員免許を取得しておけば良かったと思ったこともありますが、異国で自分自身を客観的に見直す機会が与えられたことや語学堂での外国の人々との出会いがあったからこそ、後々夢に向かって努力できたのではないかと思います。

さて、現在私が勤務している学校は、上海市内の公立高校が経営している私立高校です。普通科、国際科があり、国際科はアメリカ、カナダ、日本へ留学することを目的に外国人教師が直説法で語学、一般科目、文化、生活習慣などを教えるコースであり、留学先で難なく学校社会に溶け込めることを目標としています。授業は7時50分から4時10分まで、40分授業の9時間授業です。詰め込みすぎではないかと

心配するほどのスケジュールで学生たちは勉強しています。学歴社会の上海。小学生のときから、山のように出される宿題をこなし、放課後には塾へ通います。宿題の多くはパターンプラクティスで頭を使い考えるものではなく体に覚えさせて習得していきます。学期末の成績は平常点(授業態度、授業参加度、提出物など)はあまり加味されず、主に試験の点数で評価されます。青少年教育では必要不可欠であろう生活態度や礼儀、学習以外の活動に関してこれまで学校から評価されたことがないと保護者から聞いたこともありました。勉強が苦手な学生にとってはかなり苦しい学生時代を送らざるを得ないような環境がここにはあるように思えます。

私が感じる日中の高校との決定的な相違は、教育機関における精神医療です。教師が授業内外で学生の精神面をフォローしたり、保健室登校が認められていたり、スクールカウンセラーが活躍する日本は、学生支援体制が整っていると思います。しかし、中国はこの分野においてはまだまだ後進国で、幼い頃親から受けた暴力のせいで精神的に不安定な学生、友達との悩みをうまく解決できずに不登校になってしまう学生などに対して十分な支援体制が整っておらず、学歴社会に埋もれ放置されていく現状があるように感じます。そういった学生たちを、母語の違う私たち日本人教師が中国人スタッフと協力して学生をサポートし、卒業しても一人一人が豊かな人生を歩んでいけるようにと日々奮闘しています。しかしながら、常識の相違や、言葉の限界など、難しさや無力さを感じない日はありません。

教師になって初めて気づくことは、家族と恩師のありがたさです。学生の保護者と自分の両親が重ねて見え、今さらながら両親の愛情を感じられるようになりました。私が悩みつまずいたとき心配している素振りなど見せず一番の理解者として応援し続けてくれた母。母が亡くなって今年で6年目になります。「私が高校生とき、どうだった?親ってどんな風に思ってる?」今となっては聞きたいこと、相談したいことが山ほどあります。今は遠くからそっと見守ってくれているのだと思いますが、やっぱり日本へ帰ると母の姿を探してしまいます。それに、未だに好き勝手している私を心配している父。「自分の人生は一度きりだから後悔しないように」と送り出してくれたり、帰るたびに私の作った学級通信に目を通してくれたりします。両親には、本当に感謝してもしきれません。そして、お世話になった先生方。情報があふれる世の中で何を選び信じていくのかをゼミの授業を通して教えてくださった山崎先生。オフィスを訪ねると忙しそうにしている姿が今でも目に浮かびます。就職活動などで大変お世話になった鎌田先生。いつもみんなのお姉さんのような存在だった、北山先生。お三方に限らず、在学中はたくさんの先生方、友人に大変お世話になりました。今、ここの学生と関わっていくなかで、自分がどれほど傲慢であったかと反省し、今の私があるのは先生方が私の人生に光を照らし導いてくださったのだと実感しています。いつの日か先生方のように学生に寄り添い見守れる存在になれるよう、教育に携わるものとしてこれからも精進していきます。



3月に卒業した学生達と

四国学院同窓生支援制度についてのご案内

～四国学院大学のご理解とご支援により、同窓生への支援制度が充実しました～

「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度」

内容

四国学院同窓生本人、同窓生本人の父母・子・兄弟姉妹・祖父母・孫が入学する場合、入学金を全額免除します。

「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」

四国学院大学では同窓生の学習意欲を応援しています。教員免許など資格の取得を目標にしていたが、卒業までに必要な単位を修得することが出来ず、改めて資格の取得を目指そうと考えている同窓生、純粋に教養を身につけたいと考えている同窓生のために設けられている制度です。

内容

四国基督教学園、四国学院短期大学、四国学院大学、四国学院大学院を卒業した者で、学部科目等履修生または学部科目聴講生として登録した者は、下記のとおり免除および減額します。ただし、四国学院大学院生として在籍している者は、対象から除きます。

- ①学部科目等履修生の登録料を免除する。(20,000円免除)
- ②学部科目の科目等履修料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額)
- ③学部科目の聴講料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額)

「介護福祉士を取得したい方へ」

四国学院大学を卒業後、四国学院大学専門学校に入学し卒業することで、介護福祉士国家試験の受験資格が取得できる制度が導入されています。また、四国学院大学専門学校内に介護福祉士実務者研修センター〈通信制〉が設置されました。通信の良さは自宅で自分のペースで学べる事です。詳しくは以下のとおりです。

I. 四国学院大学を卒業して四国学院大学専門学校に入学する

① 学びの特徴

- (1) 卒業年度に介護福祉士国家試験の受験資格が得られます。
- (2) 互換性のあるものについては、科目の読替認定が可能です。
- (3) 履修科目について、1単位あたり10,000円が必要です。

② 学費支援

本学卒業生は、入学金(200,000円)が免除になります。

③ 奨学金制度

香川県介護福祉士等支援修学資金が利用可能です。なお、卒業後1年以内に香川県で介護業務に5年間従事すると返済が免除となります。

II. 介護福祉士実務者養成研修センター〈通信制〉に入学する

専門学校内に設置された厚生労働大臣指定の介護福祉士実務者養成施設です。現在介護施設・病院等で介護業務に従事している方が介護福祉士国家試験の受験資格を得るための施設です。

① 学びの特徴

- (1) 平成28年度介護福祉士国家試験受験から有効です。
※平成26,27年度の国家試験を受験する場合、本研修を終了すると実技試験が免除されます。
- (2) 平成28年度からの受験資格には、実務経験3年以上に加えて、この実務者研修を終了することが必要です。
- (3) 通常の学習期間は、6ヶ月間以内ですが、最大3年間まで実費以外の費用は発生せず延長して学習ができます。
- (4) サービス提供責任者になれます。
- (5) 介護福祉士による喀痰吸引等が可能になります。

② 学費

- (1) 入学金は不要です。
- (2) 現在修了済みの研修等により学費は異なります。

〔問合せ及び資料請求先〕
学校法人 瀬戸内学院 四国学院大学専門学校

フリーダイヤル 0120-72-5192
メールアドレス info2@setouchi.ac.jp

夏期休暇中の証明書の発行

2014年度夏期休暇中(8月12日～17日)は、大学の事務所が閉まります。

この間、卒業・成績証明書等は、発行停止となりますので、就職活動や大学院進学等で証明書の必要な方は、早めに申込みをしてください。

2014年度免許状更新講習

香川県西讃地域唯一の4年制大学として位置する四国学院大学として、地域への貢献、教員養成課程を有する大学としての社会的責任に鑑み、教員免許状更新講習を実施いたします。2014年度は7月26日から8月3日の9日間で必修2講座・選択37講座を開講します。本学の更新講習は文学部、社会学部、社会福祉学部の3学部を挙げて積極的に取り組み、本講習では受講者の意見を充分に取り入れながら『教育現場ですぐに役立つ最新知識・実践演習』を展開していきます。

社会福祉士・精神保健福祉士の受験をお考えのみなさまへ

昨年度に引き続き、本学を会場とする「社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」(日本社会福祉士養成校協会・日本精神保健福祉士養成校協会主催)に、卒業生も受験することができます。受験対策に、ぜひ活用ください。詳しくは、大学ホームページ「卒業生の方へ」をご覧ください。

ノトスクール in summer

ノトスタジオでは、地域の方々にアートとふれあい、言葉とからだを通して表現する経験を提供することを目的とする教育プログラム、ノトスクールを定期的に開催しています。身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーの特徴を生かした、演劇、即興演劇、コンテンポラリーダンスのワークショップを実施し、新しい劇場のあり方を常に模索しています。今回は、ノトスクール in summer(8月18日～23日) 子どものためのワークショップとして、クリエイティブ・ダンスとシアターインプロ(即興演劇)のワークショップを開催します。

演劇公演

四国学院大学主催・共催で演劇公演やワークショップを開催しています。是非一度、足をお運び下さい。

日時	タイトル ★は文化庁補助事業	作家・演出家・講師	場所
7月19日(土)	第3回アートマネジメント実践講座★	講師:八木祐之	サンポートホール高松
7月24日(木)～27日(日)	SARP Vol.7	作・演出・音楽 糸井幸之介	四国学院大学ノトスタジオ
8月9日(土)	第4回アートマネジメント実践講座★	講師:平田オリザ	サンポートホール高松
8月18日(月)～23日(土)	子供向けダンスと演劇のワークショップ★	講師:阪本麻都、仙石桂子	四国学院大学ノトスタジオ 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
8月27日(水)～29日(金)	高知 高校生向け演劇ワークショップ★	講師:平田オリザ、西村和宏	高知県立美術館ホール
9月12日(金)～13日(土)	ノトスラボ vol.4「黒豆」	作・演出:仙石桂子	四国学院大学ノトスタジオ
9月20日(土)～21日(日)	小豆島アーティストインレジデンス「あゆみ」★	作:柴幸男 演出:西村和宏	小豆島町サンオーリーブ
10月4日(土)～5日(日)	内子座アーティストインレジデンス「隣りにいても一人」★	作:平田オリザ 演出:西村和宏	愛媛県内子座
10月25日(土)～29日(水)	サラダボール「ロベルト・ズッコ」	作:ベルナルド=マリ・コルテス 演出:西村和宏	四国学院大学ノトスタジオ
12月3日(水)～7日(日)	SARP Vol.8	演出:森 新太郎	四国学院大学ノトスタジオ
12月16日(火)～24日(水)	青年団「サンタクロース会議」★	作・演出:平田オリザ	サンポートホール高松 シアターねこ
12月18日(木)～20日(土)	フィールドプラクティカム公演「シアタータンク2014」	演出:西村和宏、阪本麻都 仙石桂子	四国学院大学ノトスタジオ
1月22日(木)～24日(土)	青年団「暗愚小傳」★	作・演出:平田オリザ	四国学院大学ノトスタジオ
3月12日(木)～13日(金)	国際共同事業「魚の帰郷」★	作:李潤澤 演出:ナム・ミジョン	サンポートホール高松
3月14日(土)	シンポジウム	講師:平田オリザ 他	サンポートホール高松

オープンキャンパス

見て、聞いて、触れて、感じる。
四国学院大学の雰囲気直接体験してみよう。

大学紹介・モデル授業・個別相談会・キャンパスツアー・保護者対象説明会などを実施します。お気軽にご来場ください。

7/19
sat 19
11:00～16:00

8/9
sat 9
11:00～16:00

9/23
tue 23
祝
11:00～16:00

オープンキャンパスや
入試に関する
お問い合わせ・資料請求は

入試課

通話料無料

0120-459-433

TEL0877-62-3964(入試課直通)

E-mail info@sg-u.ac.jp
HP http://www.sg-u.ac.jp

※詳しくはホームページをご覧ください。※オープンキャンパス以外の日程でも個別相談・施設見学など随時受け付けております。お気軽に入試課までお問い合わせください。